
休憩室

暮夜夢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

休憩室

【Nコード】

N2446B

【作者名】

暮夜夢

【あらすじ】

いろいろな職場の休憩室で起こった不思議なこと、同僚達のぼやきなどフリーター真奈が経験した7つのお話

花嫁の母

私は真奈、25才。

高校を卒業してから何をしよう、何になりたいとかの目的がさだまらず、いまだフリーのアルバイト。しかも、ひとつのところに落ちつけない。楽しく働けばいいけど、もめごとなんかあると面倒くさいから辞めちゃう。母や兄からはこらえしようがないといつも小言を言われている。本当のことだから耳が痛い。今朝も出がけに「石の上にも三年で言葉知ってるな。しっかり働いてこいよ」なんて兄貴に嫌みを言われて急いで家を飛び出した。もうっ！ほっといよ！ブツブツ言いながらバス停に向かう。

今の仕事は結婚式場の引き出物センターと売店。ずっと立ち仕事でつらいのなんの。足がばんばんにむくんでこれぞ大根足！同僚は私より年上の女性ばかり。なかには花嫁さんの介添えの仕事をしている人もいて、結婚式にまつわる話を聞かせてくれたりする。これがけっこう面白い。売店の中にある小さな休憩室で、今日もある作り酒屋の一人娘の話を聞いた。

その娘の家は、地方で古くから作り酒屋を営んでいるかなりの家柄らしい。招かれている客もそれなりに上流のようだった。それに比べて新郎側はあきらかに不釣り合いな感じで、とてもちぐはぐに感じたと言う。ふつう、祝宴が始まると和やかな雰囲気になるのに、時間がたつごとにしらけた空気が漂ってきて会話も弾まない。それというのも新婦の母親が花嫁にまわりついてさめざめと泣いてばかりいるからなのだと。

「結婚なんか辞めて今すぐ帰ろう。」

周りも目にはいらない様子である。新婦の叔父も酔って新郎の身内にしきりに不釣り合いだといっていたらしい。お色直して退出したとき移動のエレベーターの中で新郎が新婦に

「お前の叔父さんにさんざん嫌み言われたよ…」

と愚痴をこぼしていたという。母は地元娘に最良の縁談を用意してひたすら帰るよう説得していたらしい。作り酒屋を維持していくためにもそんなじよそこの婿では役不足なのだ。その話をきいて私は同僚に聞いてみた。

「それで梅子さんはその新郎をどう思ったの？」

梅子さんは私に言った。

「ありやダメだ、すぐに別れるよ。」

即答する彼女に驚いて理由をたずねると一口お茶を飲んで彼女は言った。新郎は今日の披露宴の新婦側の顔ぶれを見て驚いていた。新婦の叔父の一言に心が萎縮してしまった。

「ここまでの家柄とはたぶん思ってたのね。卑屈な感じで屈託があった。ちっともかっこよく見えなかった。プライドが傷つけられているばかりで、なにくそという気持ちが無いのね。これから生活していても今日の事が頭の隅に小さくくすぶり続けて無くなることはないだろう。「花嫁さんだって今は親や家に反発しているから意固地になっているけど、気持ちがやがて冷めたらなぜ、母親や叔父たちがあんなに反対したのかわかるようになるだろうね。とにかく母親の姿はみつともなくて見られたもんじゃなかったよ。せめてお式がすんでお客様がお帰りになってから、もう一度娘と話し合えば良かったねのにね。」

梅子さんは、ほーっと一息つくと目をしばしばさせた。結婚式場で働いているとさまざまなお客様がいらっしやる。

いまどきのカップルは結婚は自分達本人の自由と思っているだろう。しかしまだまだ家と家の結びつきであったり、地方なりのしきたりなどけっして無視できない事柄があり、式の打ち合わせから対立してしまう両家も多い。私は今のところ彼氏もいないのでいらぬ心配だけど、結婚するときは南の島で誰にもじゃまされずに静かに厳かにしたいなあ。あんな口うるさい母や兄貴にあれやこれや言われるなんてガマン出来ないよ。梅子さんは

「真奈ちゃんときは私が介添えしてあげる」

だって。うーん、ここで式をあげたら安くなるのか、それもいいかもって、まだ彼氏いないって！自分で突っ込んでどうするよ、もう！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2446b/>

休憩室

2011年1月30日02時59分発行